



《新任者養成研修①～③》

◆会場：ウインクあいち

◆企画：新任者養成委員会

今年度も新任者養成研修が実施されました。この研修は、協会に加入しているすべての所属機関に今年入社されたフレッシュな方から、実務経験3年目程度までの方を対象にしています。

研修のはじまりは入社後半年を過ぎた10月からなので、新人の皆さまも多少落ち着いた気持ちで参加していただくことができたのではないのでしょうか？

私たち相談援助業務に従事する者に必要な各種専門分野に関して基礎的な内容を中心に進めていきますので、気軽な気持ちでご参加いただけます。各回2名の講師による講義形式で進められていきました。

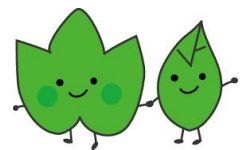
第1回 10月8日(土)

テーマ/講師

『医療ソーシャルワーカーの役割と医療制度改革』/黒木信之氏(名古屋市医師会)

『医療費・生活相談1』/本多明美氏(春日井市民病院)

参加された方の9割以上が勤続1年未満ということもあり、緊張感も漂う中、ソーシャルワークの歴史から社会保険の仕組み、後期高齢者医療保険や高額療養費制度など、基礎的な事を順序立ててわかりやすい講義内容でした。静かな雰囲気の中、皆さん集中して講義に聞き入っていました。



【周りの受講者と軽いディスカッションを交えます】

第2回 10月29日(土)

テーマ/講師

『医療費・生活相談2』/外山弘幸氏(江南厚生病院)

『医療費・生活相談3』/森下祐一氏(愛知医科大学病院)

障害者、難病患者が利用できる制度について講義が行われました。内容が多岐にわたりボリュームも多く、内容の濃いものでした。一度の講義ですべてを理解することは難しいですが、配布された資料を活用し、実践の中で理解を深めていただきたいと思います。



【わかりやすく丁寧な説明】

第3回 11月5日(土)

テーマ/講師

『医療費・生活相談4』/外山弘幸氏(江南厚生病院)

『医療費・生活相談5』/森健氏(名古屋第二赤十字病院)

医療費だけでなく生活を支える社会保障制度について講義が行われました。傷病手当金等は実際に業務で携わったことがない参加者も多かったと思われ、難易度の高い内容でしたが、だからこそ講義を受ける意義もありとても濃い内容でした。生活保護制度は保護費の詳細についても資料が配布され、実践的な内容になっていました。

全8回の研修ですが参加費もお値打ちに設定されております。今年度参加ができなかった方も、実践に活かせる、身になる内容となっておりますので、ぜひ来年ご参加いただければと思います。

【記載者：研修理事 高須悠乃】